

政務活動費成果届出書

届出者 嶋崎 昌弘

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

半田病院の経営形態と役割について

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

今年度半田病院は、経営形態の検討目標を「他の独立行政法人や全適化病院への視察を通して、さらなる情報収集に努め、経営形態の見直しによるメリット・デメリットを検証する。また、新病院計画の見直しや経営状況の変化も踏まえたうえで、継続して最適な経営形態及び移行時期を検討する。」としている。そして平成32年度には移行時期を決定するとしている。議会としても半田病院の経営形態の方向性と役割をそして移行時期などを調査しておく必要があると考える。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

・目標は達成出来た。
公立病院の経営環境はますます厳しくなっている現在、地域医療構想の実現が求められ、再編や統廃合を視野に入れた課題解決が必要であることが認識できました。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

・一般地方独立行政法人化にすべきと考える。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

・経営形態を考える中で今年度に行われる、常滑市・半田市医療提供等体制協議会が初段階の会議であり重要な第一歩であると考え。
・常滑市民病院は「一般地方独立行政法人化の検討」半田市民病院は「最適な経営形態を研究・検討」

確認欄	議長	管理委員長

